

平成 28 年度 市町村議会議員研修【5 日間コース】(社会保障・社会福祉コース)

日時：平成 28 年 10 月 17 日～21 日

場所：全国市町村国際文化研修所 (JIAM)

滋賀県大津市唐崎二丁目 13-1



◎スケジュール

17 日

開講式・オリエンテーション

交流会

18 日

①介護保険のこれからと市町村の役割

淑徳大学コミュニティ政策学部 教授 鏡 論 氏

②地域医療の確保に関する課題

東京大学 特任教授 尾形 裕也 氏

③グループワーク討論

早稲田大学人間科学学術院 教授 植村 尚史 氏

19 日

④社会保障の現状と展望

早稲田大学人間科学学術院 教授 植村 尚史 氏

⑤自治体における障がい者福祉の取り組み

神奈川県立保険福祉大学 教授 河 幹夫 氏

⑥超高齢社会に向けた医療・福祉システムと自治体の役割

神奈川県立保険福祉大学 教授 河 幹夫 氏

⑦「地域包括ケア」実現に向けての動向と展望

早稲田大学人間科学学術院 准教授 松原 由美 氏

20 日

⑧超高齢社会における看護師等の人材の役割

国立看護大学校 教授 峯村 芳樹 氏

⑨子育て支援策の現状と展望

東洋大学社会学部 教授 伊奈川 秀和 氏

⑩国民健康保険の構造的課題

早稲田大学人間科学学術院 教授 植村 尚史 氏

21 日

⑪生活保護の現状と課題

中部学院大学人間福祉学部 教授 柴田 純一 氏

⑫グループ発表

早稲田大学人間科学学術院 教授 植村 尚史 氏

閉校式・事務連絡

内容：別紙

平成 28 年度 市町村議会議員研修「5 日間コース」（社会保障・社会福祉コース）所見

福祉を 5 日間で多岐に渡り学ばせていただき、有意義な時間となりました。

①「介護保険のこれからと市町村の役割」

第 7 期介護保険に向けて「医療福祉の連携」「介護予防」「職員のキャリアパス」「高齢・障害・子どものサービス一体化」などがキーワードではないか。

②「地域医療の確保に関する課題」

次期計画に向けて「医療・介護の計画のリンク」「病床の機能別区分」「地域医療」などがキーワード。

③「社会保障の現状と課題」

非正規を正規雇用に。

④「自治体における障がい者福祉の取り組み」

・自由権と社会権の違いを理解できた。

⑤「超高齢社会に向けた医療・福祉システムと自治体の役割」

・住民が安心して住めることが基本

⑥「『地域包括ケア』実現に向けての動向と展望」

・「連携より経営統合」「サービス自体の包括性」というキーワードが印象に残った。

⑦「超高齢社会における看護師等の人材の役割」

・仕事へのやりがいの向上と仕事内容分担での業務改善などが人材不足解消のキーになると考える。

⑧「子育て支援策の現状と展望」

・女性就労と育児の両面から見る重要性を認識した。

⑨「国民健康保険の構造的課題」

・もともと農業者のための制度だった国保も近年ではリスクが高い人が加入している状況である。非正規労働者が増加し、リスク構造調整導入を期待したい。

⑩「生活保護の現状と課題」

・無いものを証明する難しさと職員の習熟度がキーになると思った。

⑪「グループワーク」

自治体が違うメンバーの話し合いで想定自治体を統一的に把握する難しさがあつたが、

現状把握に時間をかけて、良い悪いを意志統一できたことが良い話し合いにつながったと思う。他メンバーの意見がとても参考になった。

また発表では、他班の意見でとても勉強になった。

○全体

現在の福祉政策は症状によって分けられているが、今後は包括的に考えて取り組む必要があると講義を受けてあらためて思った。